

トヨタ紡織、ケナフを活用したオフィス家具を 株式会社イトーキと共同開発

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、株式会社イトーキ（本社：東京都中央区、取締役社長：平井嘉朗）と植物材料のケナフ※を活用したオフィス家具を共同開発しました。

ケナフは、針葉樹や広葉樹に比べ成長時のCO2吸収量が多いことから、トヨタ紡織は、これまでケナフとポリプロピレンを混合したケナフボードを自動車内装部品に活用し、軽量化や、地球温暖化防止に貢献してきました。今回は初めて、自動車内装部品以外のオフィス家具に採用されました。ケナフボードを株式会社イトーキに供給するとともに、これまで培った、ケナフボードの加工技術のノウハウを提供しました。ケナフの採用により、木質ボードに比べ軽量化を実現し、持ち運びが容易になりました。

なお、共同開発したオフィス家具は、株式会社イトーキが株式会社マテリアルに販売しております。

トヨタ紡織グループは、今後も SDGs 達成に貢献するため、カーボンニュートラルの実現に取り組み、植物材料のさらなる活用拡大を目指していきます。

※ 成長が早く、短期間で収穫可能な一年草

成長時の CO2 吸収能力が高く、針葉樹に比べると約 7 倍吸収する



株式会社マテリアル ミーティングルーム



椅子の側面にケナフボードを使用